2023年度秋季シンポジウム「持続可能な社会の実現に向けて」

～財政負担を抑制する効率的な廃棄物処理～

オンライン配信のご案内

地球規模の環境問題として地球温暖化問題と、資源の浪費すなわち廃棄物問題が克服すべき最大の危機として、日本はその対策として早くから低炭素社会、循環型社会の構築を目指して取り組んできた。化石燃料の消費の削減、廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用と言った３Rの推進と埋立処分量の最小化に取り組み、一人当たりのごみ排出量、埋立処分率、廃棄物の資源循環率は世界でトップクラスの成果を上げている。

そのような中で、異常気象が原因と思われる自然災害の多発で、廃棄物分野でもさらなる脱炭素、循環経済への取り組みが求められている。分別収集やリサイクルのために多くの財政負担が見込まれるため、廃棄物を価値を生み出す資源として活用して、財政負担を抑制する効率的な廃棄物処理が必要である。本シンポジウムでは、脱炭素、循環経済への取り組みで財政負担を抑制する効率的な廃棄物処理について考えてみたい。

1. **開催日時：2023（令和5）年1１月30日（木）14：00～17：00**

**開催当日の視聴が出来ない方は、オンデマンドサービスで、12月1日以降12月末まで視聴可能**

1. **事前登録：参加には事前登録が必要です。参加者は視聴と資料のダウンロードが出来ます。**
2. 定員：300名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

**4. 事前登録申込締切：11月27日(月)**

**5. 主催： ㈱廃棄物工学研究所**

**6. 後援：環境省**

**7.** 協賛：(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)環境衛生施設維持管理業協会

(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(一社)プラスチック循環利用協会

**8.**  協力：(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)廃棄物資源循環学会、(公社)全国都市清掃会議、(公社)全国産業資源循環連合会

(一社)日本産業機械工業会、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、 ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾OB会、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム、

**9.** 事前登録費：上記協賛協力団体会員：6,600円、非会員：13,200円、自治体職員：4,400円、

学生：2,200円(消費税込)

**10.** プログラム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 講　演　内　容 | 講　演　者 |
| 14:00～14:15 | オープニング・スピーチシンポジウムの企画の趣旨 | （株）廃棄物工学研究所代表岡山大学名誉教授　田中 勝 |
| 14:15～15:00 | 基調講演：脱炭素社会と循環経済社会の実現に向けた廃棄物分野の重点施策 | 環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課・課長　松崎　裕司 氏 |
| 15:00～15:30 | 地方行政解説：東京２３区が共同して処理する一般廃棄物の効率的中間処理（焼却や破砕など）の取り組み | 東京二十三区清掃一部事務組合建設部建設部長　高垣　克好　氏 |
| 15:30～15:40 | 休憩 |  |
| 15:40～16:25 | 特別講演：合理的な廃棄物処理を考える | 北海道大学名誉教授松藤　敏彦　氏 |
| 16:25～17:00 | 特別報告：財政負担を抑制する効率的な廃棄物処理 | （株）廃棄物工学研究所代表　　　　　　岡山大学名誉教授　田中　勝 |
| 17:00 | 閉会 |  |

**事前登録のお申し込みは、申込用紙にご記入の上、メール添付にて
運営事務局[** **info@riswme.co.jp** **]まで送りください。**

**お問合せ先：運営事務局　㈱廃棄物工学研究所（担当： 石井）　Tel/Fax　086-239–5303**

**※事前登録の申込用紙は、㈱廃棄物工学研究所ホームページ(**[**http://www.riswme.co.jp**](http://www.riswme.co.jp)**)からダウンロードいただけます。**